

平成25年度 総務部予算見積総括表

一般会計

平成25年度予算見積額	105,252,754 千円
平成24年度当初予算額	107,071,829 千円
差引増減額	-1,819,075 千円
対前年度比率	98.3 %

高知県県債管理特別会計

平成25年度予算見積額	87,055,636 千円
平成24年度当初予算額	92,709,739 千円
差引増減額	-5,654,103 千円
対前年度比率	93.9 %

高知県土地取得事業特別会計

平成25年度予算見積額	2,851 千円
平成24年度当初予算額	3,158 千円
差引増減額	-307 千円
対前年度比率	90.3 %

高知県収入証紙管理特別会計

平成25年度予算見積額	1,191,085 千円
平成24年度当初予算額	0 千円
差引増減額	1,191,085 千円
対前年度比率	- %

(注)上記には人件費は含まない。

平成25年度 総務部予算見積のポイント

基本姿勢

県行政全体の企画調整をスピード感を持って行い、政策広報の充実や効率的な組織・体制づくり、財政の健全化などに全力で取り組むことにより、各部局の運営を支援する。

「5つの基本政策」のバージョン・アップ

「対話と実行」に基づく県政運営

各部局の運営を支援

課題解決の先進県
を目指す！

主な施策体系

I 県民との対話と積極的な情報公開に基づく県政運営の推進

- ・県政に関する情報発信の強化
- ・県民の声を取り入れた県政の運営
- ・公文書の適正な管理や歴史的公文書の整備
- ・情報公開や個人情報保護制度の適正な運用

◆県ホームページのリニューアル
→別紙

II 政策の総合調整機能の強化

- ・県行政の総合調整
- ・中央における情報の収集・発信の強化
- ・地方分権の推進

III 県民サービスの向上と財政健全化の両立

- ・歳入確保に向けた取組の強化
- ・県勢指標の調査・分析・提供

IV スリムで元気な体制づくり

- ・職員の意欲と能力を引き出す仕組みづくり
- ・職員の健康管理と安全快適な職場環境づくり

V 市町村や地域の自立支援

- ・中長期的な展望に立った市町村行財政運営の支援

県ホームページの概要

平成 8年 4月 高知県ホームページの開設
 12年 1月 リニューアル（第1回）
 16年 3月 リニューアル（第2回）
 21年 3月 リニューアル（第3回）
 ※4～5年に1度、リニューアルを実施している。

県政情報をインターネットで、迅速かつ総合的に提供するため、平成8年に開設。
 4回目のリニューアルとなる今回は、県ホームページだけでなく、県警察本部や県議会など、県関係のホームページを統合し、システムの再構築と運営（5年間）を行う。

現状と課題

災害に強いホームページ

職員が情報を手入力するため、危機事象の情報掲載まで時間がかかる。

東日本大震災では、サーバーの被災や、アクセス集中によるサーバーダウンが発生。
 →次の南海地震の際には、高知県も同様の事態が想定される。
 （サーバールームが浸水予想区域内に存在）

業務改善

各所属で自所属のホームページへのアクセス状況を確認できないなど、管理機能が不足。

複数のWebシステムが乱立しており、それぞれの使用方法を習熟する必要がある。

利用者の利便性向上

平成22年8月に改訂されたウェブアクセシビリティに関するJIS (JIS X 8341-3:2010) に未対応。

パソコン向けと従来型携帯電話向けのサイトしか作成できない。
 利用が急増しているタブレット端末・スマートフォンといったモバイル端末では閲覧しづらい。

H22	H23	H24(10月まで)
0.8%	3.8%	8.8%

スマートデバイスでの利用率の変遷

「くらしと教育」・「観光と文化」・「しごとと産業」・「県政の運営」の4つの分野ページの利用率が低迷。

H22	H23	H24(10月まで)
9.7%	8.7%	7.9%

4つの分野ページの利用率の変遷

再構築のポイント

災害に強いホームページ

- ・新総合防災情報システムとの連携により、危機情報を迅速に提供。
- ・庁内クラウドでの稼働により、南海地震等の災害時にも、99.9%の稼働を実現。

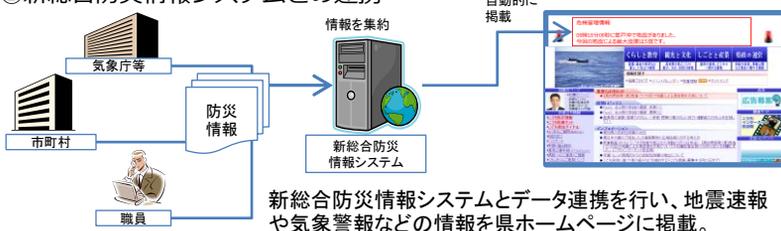
業務改善

- ・複数のWebサイト、Webシステムを統合し、年間の総運用保守費用を低減。
- ・入力方式を統一することで、職員の使用方法の習熟期間を短縮。
- ・ホームページへのアクセス状況に関する利用分析機能（各所属に対応）を導入。

利用者の利便性向上

- ・誰もが情報にアクセスできるよう、平成22年度に改正されたウェブアクセシビリティに関するJIS規格（JIS X 8341-3:2010）へ対応。
- ・スマートフォン向けページの作成機能を追加。

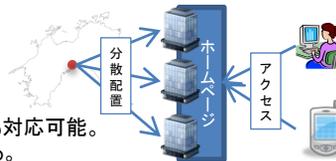
①新総合防災情報システムとの連携



②高知県庁内クラウドへの移行

- ・データセンターが複数の拠点に分散。
- ・津波の影響を直接受けにくい。
- ・免震構造を備えたデータセンターに設置。
- ・回線や処理能力に余裕があり、アクセス急増にも対応可能。

といった特徴をもつ高知県庁内クラウドへ移行する。



③管理機能の強化

- ・各所属でホームページのアクセス状況を確認。
- ・閲覧数だけでなく、どのページの閲覧者がどのような経路を辿ったか、などを全所属で把握することで、ホームページでの情報発信のPDCAサイクルを回す。

④Webシステムの統合

- ・乱立するWebシステムを統合し、職員の操作習熟期間を短縮。
- ・利用者も、同じような画面で、欲しい情報が検索可能。
- ・システムの維持管理にかかるコストも削減。



⑤JIS規格への対応

- ・障害の有無や年齢に関わらず、どんな人でも情報を得られるホームページを構築。

⑥モバイル端末向けページ作成機能

- ・タッチパネルでの操作にも配慮したデザインのページを、パソコン向け・従来型携帯電話向けページと同時に作成。



画面が小さいため、指先でのタッチパネル操作では、ボタンやリンクを押しづらい



ボタンを大きくするなど、タッチパネル操作に配慮したデザインに

⑦分野ページの見直し

- ・分野の見直しを行うとともに、デザインも一新。より見やすく、情報を探しやすいホームページを構築。